



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月11日

上場会社名 株式会社アークコア 上場取引所 名
 コード番号 3384 URL <http://www.arkcore.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03-5837-3611
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の業績 (平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	3,319	9.1	159	△9.0	161	△12.6	148	△17.1
24年2月期第3四半期	3,040	37.1	175	215.7	184	274.2	178	106.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年2月期第3四半期	7,512.87		—					
24年2月期第3四半期	9,062.12		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	1,138	575	50.6
24年2月期	1,129	427	37.9

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 575百万円 24年2月期 427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想 (平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,560	13.3	140	△21.5	142	△25.1	138	△24.3	7,028.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年2月期3Q	19,700株	24年2月期	19,700株
----------	---------	--------	---------

② 期末自己株式数

25年2月期3Q	—株	24年2月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年2月期3Q	19,700株	24年2月期3Q	19,700株
----------	---------	----------	---------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に景気回復の兆しが見え始めていたものの、世界景気の減速を背景として製造業の生産、輸出が減少してきており、企業収益が厳しさを増しております。また、欧州、中国等の対外経済環境の不確実性により、海外景気の下振れするリスクが高まり、わが国経済にも大きな影響を及ぼす可能性があります。

当社では、中古バイク事業においては、これまでと同様にSEO(検索エンジン最適化)、リスティング広告、アフィリエイト等インターネットにおけるプロモーション活動に注力し、買取台数の確保に向けた取り組みを行ってまいりました。

また、ゲオショップ事業においては、平成24年6月よりゲオショップFC店が2店舗増加する予定でしたが、当該店舗の賃貸人より、借借人から当社への転貸借契約の承認が得られなかったため、平成24年8月に当該2店舗の譲受けを中止することを決定いたしました。その結果、同店は6店舗での運営を継続しております。

当第3四半期累計期間においては、売上高3,319百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益159百万円(前年同期比9.0%減)、経常利益161百万円(前年同期比12.6%減)、四半期純利益148百万円(前年同期比17.1%減)となりました。

事業別のセグメントの業績は次のとおりであります。

<中古バイク事業>

中古バイク事業では、買取台数は9,117台(前年同期比2.0%増)となりました。第1四半期会計期間は過去最高の台数でしたが、第2四半期会計期間は前年同期比13.0%減、第3四半期会計期間は前年同期比5.9%減となっております。

第3四半期累計期間での買取台数が前年同期比で増加したことに伴い、販売台数は9,598台(前年同期比4.7%増)となりました。販売台数も第1四半期会計期間としては過去最高の台数でしたが、第2四半期会計期間は前年同期比2.3%減、第3四半期会計期間は前年同期比8.0%減となっております。

その結果、売上高は2,018百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は200百万円(前年同期比27.6%増)となりました。

<ゲオショップ事業>

ゲオショップ事業では、平成23年9月よりゲオFC店が6店舗体制となって1年経過しております。前事業年度は第2四半期まで同店は4店舗であったことから、当事業年度において当事業の売上高は増加しておりますが、1店舗当たりの売上高は前年同期比5%程度の減少となっております。

売上種類別にみますと、各種メディアのレンタル売上及び中古のゲーム機器、ゲームソフトのリサイクル売上といった粗利率の高い商品等の売上高が減少していることが影響し、1店舗当たりの売上総利益は前年同期比11%程度の減少となっております。

その結果、売上高は1,300百万円(前年同期比22.2%増)、営業損失は33百万円(前年同期は営業利益18百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期会計期間末において総資産は1,138百万円となり、前事業年度末と比較して8百万円増加しております。現金及び預金は129百万円増加する一方、商品は34百万円、流動資産その他は48百万円、のれんは27百万円減少しております。

(負債)

当第3四半期会計期間末において負債は562百万円となり、前事業年度末と比較して139百万円減少しております。長期未払金63百万円、未払金38百万円、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金41百万円、社債20百万円、それぞれ減少しております。

(純資産)

当第3四半期会計期間末において純資産は575百万円となり、前事業年度末と比較して148百万円増加しております。これは、四半期純利益148百万円を計上したためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末の現金及び現金同等物は558百万円となり、前事業年度末から149百万円増加となりました。当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は296百万円(前年同期は同222百万円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益161百万円の計上、棚卸資産の減少による増加額33百万円、その他の流動資産の減少による増加額57百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は85百万円(前年同期は同85百万円)となりました。これは主に、定期預金の払戻しによる収入20百万円及び事業譲受による支出103百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は61百万円(前年同期は得られた資金18百万円)となりました。これは、金融機関から新たに長期借入を実行したことによる収入100百万円及び長期借入金の返済による支出141百万円及び社債の償還による支出20百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第3四半期累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益は、通期の業績予想数値を上回っておりますが、第4四半期会計期間が計画どおりに推移した場合には、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも業績予想数値から大きな変動はないことが見込まれておりますので、業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	429,117	558,617
売掛金	28,200	31,289
商品	340,061	305,731
その他	85,036	36,069
流動資産合計	882,416	931,708
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	105,596	106,408
減価償却累計額	△46,348	△55,162
建物附属設備(純額)	59,247	51,246
その他	33,447	33,517
減価償却累計額	△20,387	△22,160
その他(純額)	13,059	11,357
有形固定資産合計	72,307	62,603
無形固定資産		
のれん	152,668	125,576
その他	2,855	1,649
無形固定資産合計	155,524	127,225
投資その他の資産	19,521	16,941
固定資産合計	247,352	206,769
資産合計	1,129,768	1,138,477
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,228	90,107
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	64,990	39,036
未払金	177,908	138,972
未払法人税等	7,222	22,795
賞与引当金	—	3,988
その他	78,228	77,505
流動負債合計	432,578	392,404
固定負債		
社債	50,000	30,000
長期借入金	135,949	119,988
長期未払金	83,324	20,164
固定負債合計	269,273	170,152
負債合計	701,851	562,557

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	260,535	260,535
利益剰余金	△65,443	82,560
株主資本合計	427,916	575,920
純資産合計	427,916	575,920
負債純資産合計	1,129,768	1,138,477

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	3,040,933	3,319,030
売上原価	1,839,547	1,993,312
売上総利益	1,201,386	1,325,718
販売費及び一般管理費	1,025,764	1,165,982
営業利益	175,622	159,735
営業外収益		
受取手数料	1,667	3,080
受取保険金	4,056	176
協賛金収入	3,074	—
助成金収入	1,750	100
雑収入	2,997	4,428
その他	46	53
営業外収益合計	13,593	7,838
営業外費用		
支払利息	3,322	3,369
社債利息	1,093	811
訴訟関連費用	—	2,000
その他	235	126
営業外費用合計	4,651	6,306
経常利益	184,564	161,268
特別損失		
有形固定資産除却損	4	—
災害による損失	428	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,003	—
特別損失合計	3,437	—
税引前四半期純利益	181,127	161,268
法人税、住民税及び事業税	2,603	20,812
法人税等調整額	—	△7,547
法人税等合計	2,603	13,264
四半期純利益	178,523	148,003

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	181,127	161,268
減価償却費	15,961	12,591
のれん償却額	15,290	27,092
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	3,988
支払利息	3,322	3,369
社債利息	1,093	811
訴訟関連費用	—	2,000
有形固定資産除却損	4	—
災害損失	428	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,003	—
売上債権の増減額(△は増加)	△33,553	△3,089
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,848	33,537
仕入債務の増減額(△は減少)	34,644	5,878
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△33,388	57,127
その他の流動負債の増減額(△は減少)	34,812	766
その他	1,485	994
小計	230,083	306,335
利息の支払額	△4,656	△4,213
法人税等の支払額	△2,889	△3,593
訴訟関連費用の支払額	—	△2,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,537	296,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	20,000
有形固定資産の取得による支出	△4,853	△1,282
差入保証金の差入による支出	△899	△92
差入保証金の回収による収入	62	70
事業譲受による支出	△80,146	△103,809
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,837	△85,113
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	85,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△46,695	△141,915
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,305	△61,915
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	155,005	149,499
現金及び現金同等物の期首残高	317,723	409,117
現金及び現金同等物の四半期末残高	472,729	558,617

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	中古バイク 事業	ゲオショップ 事業	計	
売上高	1,976,646	1,064,287	3,040,933	3,040,933
セグメント利益	157,216	18,405	175,622	175,622

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

ゲオショップ事業セグメントにおいて、平成23年9月にゲオショップ2店舗を取得したことよりのれんが増加しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は当第3四半期会計期間においては118百万円であります。

当第3四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	中古バイク 事業	ゲオショップ 事業	計		
売上高	2,018,976	1,300,054	3,319,030	—	3,319,030
セグメント利益又は損失(△)	200,615	△33,476	167,139	△7,403	159,735

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。